

Selected Folder :

First Hit Previous Doc Next Doc Go to Doc#
End of Result Set

 General Collection

1/22: Entry 1 of 1

Filer: DWPI

Apr 12, 2002

BERNENT-ACC-N0: 2002-389723

BERNENT-WEEK: 200242

COPYRIGHT 2008 BERNENT INFORMATION LTD

TITLE: Payments program includes list of companies which provides credit cards to user, from which one company is selected corresponding to which payment data with purchase order data are transmitted to supplier

INVENTOR: YOSHIDA K

PATENT-ASSIGNEE:

ASSIGNEE

JAPAN TOTAL DESIGN COMMUNICATION KK

CODE

NITON

PRIORITY-DATA: 2000JP-296923 (September 28, 2000)

 Detailed Standard All Claims

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
JP 2002109435 A	April 12, 2002	JA

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DATE	APPL-NO	DESCRIPTION
JP2002109435A	September 28, 2000	2000JP-296923	

INT-CL-CURRENT:

TYPE IPC	DATE
CIPS G06 Q 10/00	20060101
CIPS G06 Q 20/00	20060101
CIPP G07 G 1/12	20060101
CIPS G07 G 1/14	20060101

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - Several companies which provide credit cards for the user are displayed when purchase order data (D1) is transmitted by a user through a portable terminal (2). A specific payment company is selected by the user, corresponding to which payment data and purchase order data are transmitted to a supplier for delivering goods to the user.

DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is included for payment system.

<http://jupiter1:42900/bin/gate.exe?f=doc&state=4ka76b.24.1&ESNAME=FULL&p> Message=&q... 8/27/2008

JP2002-109435

USE - Payments program for settling payment for purchase of goods, through internet.

ADVANTAGE - Enables the user to select a company from various payment companies which provides credit card for purchase of goods. Thus utilization of credit card companies is performed effectively.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the functional block diagram of the payments system. (Drawing includes non-English language text).

Portable terminal (2)

Purchase order data (D1)

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 2002109435 A
EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/10

TITLE-TERMS: PROGRAM LIST COMPANY CREDIT CARD USER ONE SELECT CORRESPOND PAY DATA
PURCHASE ORDER TRANSMIT SUPPLY

DERWENT-CLASS: T01 T05

EPI-CODES: T01-J05A1; T05-L01A;

SECONDARY-ACC-NO:
Non-CFI Secondary Accession Numbers: 2002-305672

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(1)日本国特許庁 (JP)

02 公開特許公報 (A)

(1)特許出願登録番号

特開2002-109435

(P2002-109435A)

(6)公開日 平成14年4月12日(2002.4.12)

(3)Int.Cl. ¹	発明記号	P.I.	チヤード ² (略)
G 0 6 F 12/00	414	G 0 6 F 17/00	414 82042
	400		400 5B046
	506		506 5B055
G 0 7 G 1/12	321	G 0 7 G 1/12	321L
1/14		1/14	

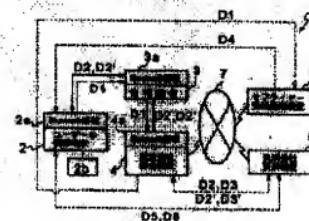
特許者、有 本発明の数6 CL (合7件)

(1)出願記号	特願2000-294223(P2000-294223)	(7)出願人	株式会社ヤクル・トータルデザイン・コミュニケーションズ
(2)出願日	平成12年9月25日(2000.9.25)	(8)実用新案登録第1丁目6番8号	
		(9)発明名	会員一覧
			本発明は、会員登録情報を登録する装置1号、例、式会員登録情報登録装置1号を有する会員登録情報登録装置1号を有する会員登録装置1号、例、式会員登録情報登録装置1号を有する会員登録装置1号
		(10)代理人	IPMIP SRL
		代理士	川 勉人
		アグリーメント	IPMIP SRL 0000 0004 0001 0000 0000 0004 0004 0000 0000 0000 0004 0004 0000

(5)【発明の名前】 決済プログラムおよび決済システム

(5)【要約】

【課題】 この発明は、ユーザーが機器端末上で決済に際して複数の決済会社の中から選択することができるようになした決済プログラム及びそのシステムに関するもの。【解決手段】 情報端末が情報を提供する商品やサービスについてユーザーが機器端末で発生データを送信すると、該発生データを受信すると共にユーザーの取扱情報端末に接続を行いうる複数の決済会社を確認可能で表示する決済データを送信し、ユーザーが該機器端末にて上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を選択した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済端へ与信を求める与信データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに与信を与えた決済を認めた決済データが送られるるとアライヤーに前記発生データを送つて、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 株式会社に投げられた決済プログラムであって、

情報機器が提供する商品やサービスの情報をについてユーザーが携帯端末で投注データを送信すると、該投注データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社と連携可能な表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ手信を求める手信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに手信を求める手信データないし決済を認めた決済データが返信されるときアライヤーに前記投注データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム。

【請求項2】 サプライヤー間に投げられた作業機器に接続された決済装置に投げられた決済プログラムであつて、

情報機器が発信する商品やサービスの情報をについてユーザーが携帯端末で投注データを送信すると、該投注データを受信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データを送信し、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ手信を求める手信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーに手信を求める手信データないし決済を認めた決済データが返信されるときアライヤーに前記投注データと決済データを送って、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム。

【請求項3】 情報機器が情報情報を提供する商品やサービスについてユーザーが携帯端末で投注データを送信すると共にユーザーの前記携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社と連携可能な表示する決済データを送信されると、これを受信した該決済会社は該決済会社の携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データを送信する。

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した該決済会社は該決済会社の携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データを送信すると共に通信ネットワークを介して前記指定された決済会社の決済装置へ手信を求める手信データないし決済を求める決済データを送り、該決済会社の決済装置からユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済プログラム。

【請求項4】 サプライヤー間に投げられた作業機器に接続された決済装置からユーザーへ商品やサービスの情報をについてユーザーが携帯端末で投注データを送信すると、これを受信した該決済会社の該決済会社からユーザーの携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した該決済会社は該決済会社の携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データが送信され、

ユーザーが前記携帯端末で上記複数の決済会社の中から特定の決済会社を指定した決済データを送信すると、該決済データを受信した該決済会社は該決済会社の携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データを送信すると、該決済会社の決済装置からユーザーへ手信を求める手信データないし決済を認めた決済データを送り、該決済会社の決済装置から該決済会社へ手信を求める手信データないし決済を認めた決済データが返信されると、該決済会社は該決済会社の携帯端末に決済を行いうる複数の決済会社を連携可能な表示する決済データを送り、サプライヤー間に接続されたアライヤーに通じてユーザーへの商品またはサービスの提供を行わせることを特徴とする決済システム。

【請求項5】 サプライヤー間に接続された作業機器に接続された決済装置に投げられた決済プログラムであつて、該決済装置が前記機器にそれぞれ組み込まれた決済機能が実現されるように接続されられてデータ交換しうることを特徴とする決済システム。

【請求項6】 複数台数のサプライヤーが各自個別に送られる決済データが、ユーザーの携帯端末の第1画面に1つの決済会社とその他の決済会社の決済装置を表示されており、その他の決済会社と接続する決済装置を表示する画面に表示された該決済会社の決済装置を操作するように画面操作されていることを特徴とする決済システムからなりに記載の決済システム。

【先行の特許の説明】

【0001】

【既存の技術】 今まで、ユーザーが商品やサービスの提供を受ける場合には、サプライヤーが個別に持っている専用のクリエジットカードなどを決済装置との間で、直接接続を行ない、各機の詳細を整理して手数を削減しており、ユーザーが決済装置を操作する手間の大きさはなかつた。また、近頃はインターネット上で利用できる電子マネーも知られているが、利用法は限られている。

【0002】

【先行が解決しようとする課題】 この説明は、上記事情に鑑みて既存技術の動向が見えてきたものであって、その主要な特徴は、ユーザーが携帯端末で決済装置に対して複数の決済会社の中から選択することができるようになした決済プログラムおよびそのシステムを提供することにある。

【0003】

【問題点を解決するための手段】 この発明は、上記課題を解決するために、請求項1の決済プログラムの発明では、該決済装置に沿うた決済プログラムがあつて、情報機器が提供する商品やサービスの情報をについてユーザーが携帯端末で投注データを送信すると、該投注データ

を受信すると共にユーザーの前記操作結果未に決済を行いうる複数の決済会社を選択可能に表示する決済データを配置し、ユーザーが該複数決済会社に上記構成の該会社の中央から特定の決済会社を選択した次第データを送信すると、該決済データを受信すると共に通常ネットワークを介して前記選択された該決済会社の決済手段データを含む年付データを含む決済データを送り、該決済会社の決済手段からユーザーに年付を年2月も含措データないし決済を認める決済データが送られる旨アラートデータにて認測はアラートと該データを端末にて、ユーザーへ商品またはサービスの提供を行わせうる、という技術的手段を説いている。また、該装置2の該決済プロセスの実現では、サプライヤー間に限られた特許権に隸属された開発装置間に割り当たる技術プログラムである、技術権能が確保する商品化やサービスの情報についてユーザーが該情報で先行生データを送信すると、認測生データを受信すると共にユーザーの前記操作結果未に決済を行いうる複数の決済手段データを選択可能に表示する決済手段を並置し、ユーザーが該複数決済手段に上記構成の該決済会社の中央から特定の決済会社を選択した決済データを送信すると、該決済データを受信すると共に通常ネットワークを介して前記選択された該決済会社の決済手段データを含む年付データを含む決済データを送り、該決済会社の決済手段からユーザーに年付を年2月も含措データないし決済を認める決済データが送られる旨アラートデータにて認測はアラートと該データを端末にて、商品またはサービスの提供を行わせうる、という技術的手段を説いている。

[0094]請求項3の水冷システムの说明では、情報機器が運転を停止する直前にユーザーについて音楽データを再生して、それを受け取る機能がある。請求項4の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項5の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項6の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項7の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項8の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項9の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項10の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項11の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項12の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項13の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項14の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項15の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項16の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項17の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項18の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項19の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。請求項20の水冷システムでは、運転を停止して再生データを表示すると、これが受け取る機能がある。

定した決済データを送信すると、該決済データを受信した銀行は該決済データ内に記載された取引指定された決済会員の決済登録データへ情報をもたらすデータアイトイ、決済を求める決済データを送り、該決済会員の決済登録から該決済登録データへ、決済登録する該決済データをいかにして決済登録データへ登録されるか、該決済登録は特機器上に上記決済データを挿す、サプライヤーに前記決済データを添付してスレーブへの最高値はサービスの提供を行わせる、という構成の手段が示されている。

20 [00061] 【光明の魔女狩り】以下に、このモードの操作システムの操作説明について操作を説明しながら解説する。1名より複数名まで子供が操作するシステムでは、ユーザーが使用する操作機器は操作台上と、一箇所操作室内で操作に取組むこととする。操作機器は操作台上と、一箇所操作室内で操作される。ユーザーが操作する操作機器は操作台と、操作室内で操作される操作機器と、インターネット接続端末キットツーカー⁴と呼ばれた端末会員登録装置（ツーカー）⁴と、両際に前記端末キットツーカー⁴と接続された次回登録の次回登録装置（次回ツーカー）⁵およびスマートカーライバー⁶の次回登録装置（次回ツーカー）⁵とから成っている。

[0007] 手元で行う、音楽機器等との、情報端子等との接続等は、それなりにBluetoothなどのブロードキャスト機能を備え、3.6、4.4が構成されている。ここでBluetoothとは、ブルートゥース・スペシャル・インターフェース・グループ(Bluetooth special interest Group)により構成されている。これが確立されていない状況場面に関するが、通信距離が2.45GHzの空いているISM(Industrial, Scientific, Medical)周波数帯において、0.01m~10mの範囲で実現されるように開発され、その通信距離は10メートルで、データ伝送レートは721kbpsである。この機能は既設LANとの接続などをして時分割二重接続を利用する。参考文献：コードオーム・ブルートゥース・無線技術の全世界的標準化 A Global Specification for Wireless Connectivity)、ブルートゥース・スペシャル・インターフェース・グループ www.bluetooth.com 1998年版。

【0008】ここで情報端末2は、データを送受信可能な物語装置2aを搭載したものでディスプレイ装置2bと情報を転送可能な端末装置2cを備えた携帯電話やPDA、携帯型ゲーム機などを前記端末装置を搭載したものなどが用いられる。

【0009】情報端末3は、インターネット等の通信ネットワークに接続可能な装置。例えばパソコン、PDA、ウェブTV（携帯）、デジタルTVなど、または独立して利用されるそれ以外の機器、例えば電話、ラジオ、カーナビなどである。この情報端末3は、商品やサービス情報をユーザーに伝えるものであり、情報端末2の情報端末2aとデータ送受信可能な物語装置3aを搭載した構造になっている。

【0010】次に、運営会社の運営端末4は、本実用新規では前記2・3項の物語装置2aを搭載すると共に、通信ネットワーク上に接続可能なパソコン等のデータカードからなっており、前記情報端末3の近くに設置されて物語装置4a、3a側でデータ送受信が可能となっている。また、決済会社の決済端末5はアライヤーの決済端末5aまたは、それぞれパーソナルコンピュータの運営端末4aまたはカーナビからなって物語ネットワークに接続されている。

【0011】ここで、ユーザーには、個人の端末（携帯電話等）の他の友人や団体などが含まれる。また、決済会社には、銀行、郵便、運送会社、通信キャリア、その他の決済システムが含まれる。アライヤーには、企業、個人、芸能団体、その他の個人や団体などが含まれる。

【0012】次に、この決済システムの手順について説明する。ユーザーは、情報端末2aに接続されたB1と、もともと物語装置3aの物語装置2aと物語装置3aに接続されたB1と物語装置3aの物語装置2aとを接続させて、ディスプレイ装置2b上に情報端末3が表示する商品やサービスの情報データと文字やアイコンなどで表示してもよい。そこで、ユーザーはディスプレイ装置2b上で表示された中から選んで入ったしのを選択し、再生データD1を送信する。

【0013】あるいは、ユーザー側には商品やサービスの情報データを表示せずに、ユーザーは情報端末3の外部表示に表示された商品やサービスの情報データを見ながら、情報端末2aから再生データD1を送信するようにしてもよい。この再生データD1は、情報装置3の日1用料料金算出機能装置3aと運営会社の運営端末4aによって交換されて運営装置のメモリーに記録される。

【0014】次いで、運営端末4は、その物語装置4aから情報装置3の情報装置3aを介して、ユーザーの情報端末2の情報装置2aとデータ交換を行って再生データD2を送信し、正規時はユーザーの前記端末装置2

のディスプレイ装置2bに決済を行いうる権限の決済会社の文字やアイコンなどを選択可能に表示する（図3参照）。

【0015】決済データD2は、ユーザーの情報端末2のディスプレイ装置2bに、図3（a）に示すように第1画面として1つの決済会社（運営会社ではAムカード）が表示され、その横に「OK」コマンドC1と「その他」コマンドC2が選択可能で表示される。そして、「OK」コマンドC1を選擇するとAムカードが決済を行うデータと決定されると操作が終り（図3参照）。

【0016】「その他」を選択すると、第1画面に並み表示する画面に表示される決済会社のカード以外の決済会社のカードを選択しようとすると画面には表示される「BBカード」、「CCカード」、「DCカード」および「Eカード」等の選択決定用マウンドC3が画面画面に表示される。そこで、ユーザーが決済を希望するカード（例えば「DCカード」とする）を選択し、その内容を決定すれば、C2カードが決済を行うカードと決定されその操作が終り。このように決済画面のための操作は、最初（前1画面）に表示される運営会社のカードを、その後の操作から選択される決済会社のカードに対して操作のことを意味する。

【0017】このようにしてユーザーは、運営会社側が表示する運営の決済会社の中から選択する決済会社を選択した決済データD2は、運営会社の運営端末4aに送信され、運営端末4aは、上記選択された決済会社の決済端末5と物語ネットワーク7を介してアケスし、前記決済データD2を運営会社のユーザーD3と対話する。

【0018】前記運営会社の運営端末5が認証ありと判定すると、年齢をもとに運営端末データD3と、決済場所を行き先の決済データD2との間で物語ネットワーク7を介して運営端末5と運営端末4aをもとに運営端末5から情報端末3へ送信され、運営端末5は運営端末4aの運営データD2と運営データD2'を運営データD3とを比較する。運営端末5は運営データD1を対応するアライヤーの運営端末5と連絡して位置情報をもどる。

【0019】また、運営端末5では、自己決済処理を行いうる決済データD2'を、運営端末4aと物語装置3aから情報端末3に2通りで送信され、運営端末4a-3a、3a-2aを介して情報端末3から情報端末2に送り、ディスプレイ装置2aには「決済確認」を表示して決済が行われることをユーザーにフィードバックする。

【0020】一方、アライヤーは、受注処理端末が先注データD1を受信すると、ユーザーへ商品またはサービスの複数D4を行う。一方、決済会社は、前記ユーザーにメールまたは郵便で請求書または請求書を送る（D5）。そして、これに並んで決済会社はユーザーの口座から賃貸料引き下ろし、またはユーザーへ送信するなどの第1次決済（D6）が行われる。そして、決済会社は、ユーザーの代金から自己の手数料を差し引いた

JP2002-109435.0006

金額を第2次決済(D7)として請求会社に振込みなどにより支払う。また、請求会社は自己の手数料を差し引いた金額を第3次決済(D8)として、同様にサプライヤーに支払う。

【0021】上記実施例では、ユーザーの携帯端末2と情報機器3と無線端末4のそれぞれに無線端末2a、3a、4aが搭載された例を示したが、この発明のシステムでは図5に示すようにユーザーの携帯端末2と情報機器3とが無線端末2a、3aでデータ通信を行なうことで、情報機器3と無線端末4とは通信ネットワーク7を介して接続される構造であってもよい。その他の構成は前記実施例と同様であるので、同一構成には同一符号を付してその説明を省略する。

【0022】また、図5に示すように、上記情報機器3と無線端末4とは一つの端末として接続されたりともよい。即ち、情報機器3とは無線端末4に接続するプログラム4'が搭載されており、また通信ネットワーク7に接続される構造であってもよい。

【0023】あるいは、図5に示すように、情報機器3はユーザーの携帯端末2と無線端末2a、3aでデータ交換し、あるいは表示しない情報機器3には無線端末を接続せずユーザーは接続だけをすることができる。ユーザーは携帯端末2で通信ネットワーク7を介して請求会社の無線端末4(無線端末4')に接続する構造であってもよい。この場合は、ユーザーは請求会社と情報機器3を介さず直接にデータ交換を行うことになる。上記各実施例においては、第1実施例と異なる構成以外は同様であるので、その説明を省略する。

【0024】上記各実施例では、請求会社はサプライヤーに各情報と共に請求会社データを送る機能があるが、商品やサービスその他のユーザーに引き渡す場合には請求会社は各情報データだけをサプライヤーに出ればよい。そこで、图7および图8に示す最も簡単例の決済システムでは、例えばスマートカードなどのユーザーとサプライヤーが同一場所(店舗)にいる場合の決済システムについて説明する。

【0025】この場合、情報機器3はサプライヤーの管理下にある。そして、情報機器3とユーザーの携帯電話などの携帯端末2とは、無線端末3a、2aの契約で、当該店舗の取り扱い商品やサービスをユーザーの携帯端末2のディスプレイ画面2bに表示する。ユーザーは、ディスプレイ画面2bを見ながら携帯端末2で商品を選択し選定する。この選定データD1は、前記無線端末2a、3aを介して情報機器3に送られる。

【0026】情報機器3は、上記選定データD1に対応する代金の決済を求める決済データD2を請求会社端末4に無線端末3a、4aを介して送る。すると、請求会社端末4は、情報機器3を介してユーザーの携帯端末2に決済結果画面を表示する決済データD2を送信し、請求会社を選択する。この際のデータ選定には前記無線端末

4aと3a、3aと2aが用いられる。

【0027】このようにしてユーザーが希望する決済会社を選択し、この後請求会社が決定した決済データD2が選択されると、前記選定と同様に、請求会社は、上記決定された決済会社との契約に基づき通信ネットワーク7を介してアクセスし、上記決済データD2と情報をデータD3を送る。

【0028】前記決済会社の決済機能が権利有りと判定しあたかに成る対して承認者である他のデータD4

10 3'で請求会社が承認を行う前の決済データD2'が返されると、この決済データD2'とセキュリティデータD3'は、決済機能から通信ネットワーク7を介して請求会社端末4に送れる。そして、請求会社は、決済データD2'をサプライヤー側の決済機能に送る。

【0029】決済データD2'を既に取ったサプライヤーは、ユーザーからの発注データ1に基づいてユーザーへ商品またはサービスの発送を行う(D4)。なお、前記決済データD2'は、前記無線端末3aによる選定とユーザーの携帯端末2a及びデータバックル等の上記実施例では、決済データD1との契約で決済会社別とあり、またサプライヤーは決済機能をそのまま持立した機能を持つものと想定されるが、この機能の実現は各実施例と同様であるので、同一構成は同一符号を付してその説明を省略する。

【0030】上記実施例でも、請求会社より内蔵の実施例の場合と同様に、情報機器3は、無線端末3aと無線端末4との間で情報をやりとりができる。即ち、図9に示す実施例では、ユーザーの携帯端末2と無線端末4とは無線端末2a、3aでデータ通信を行うことができ、情報機器3と無線端末4とは通信ネットワーク7を介して決済データD2を介して接続される。

【0031】また、图10に示す実施例では、上記情報機器3と無線端末3aも一括して示されている。この場合、情報機器3は上記実施例と同様に中継プログラム4'が搭載されており、またその実現のために通信ネットワーク7に接続される機能はない。これらの実施例の場合にはサプライヤーの決済機能機能が重要となる。その他の、更に多くのこの実施例の実現を実現しない実施例で概要を実現せらることの能である。

【0032】
【発明の実施】この実施例は上記実施例からなっているので、ユーザーは携帯端末上で決済の選択を行うことができる。また決済に際しては、請求会社が検索する欄の決済会社の中から選択して決済を行うことができる。決済会社の欄に際しては、請求会社によって優先順位を設定することができる。特定の決済会社の利用をユーザーに促すことも可能である。

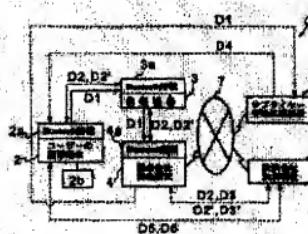
【問題の解決の割合】
【図1】第1実施例の決済システムの全体構造を示す概要プロック図である。

9

【図2】同システムの構成を示すブロック図である。
 【図3】決済用の画面を示す正面図である。
 【図4】別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図5】異なる実施例の決済システムのブロック図である。
 【図6】更に別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図7】顧客側端末に発行データを送らない別の実施例の決済システムの全体構造を示す構成ブロック図である。
 【図8】同システムの構成を示すブロック図である。
 【図9】別の実施例の決済システムのブロック図である。
 【図10】異なる実施例の決済システムのブロック図である。
 【符号の説明】
 1 決済システム
 2 通話端末
 2a 通話端末に搭載された無線装置

2b 通話端末に設けられたディスプレイ装置
 3 通話端末
 3a 電信機器に接続された無線装置
 4 顧客会社の端末装置
 4a 端末装置に接続された無線装置
 5 決済会社の端末装置
 6 サプライヤーの端末装置
 7 通信ネットワーク
 D1 到着データ
 D2 決済を求める決済データ
 D2' 決済を認めた決済データ
 D3 半額を求める半額データ
 D4 半額または一倍の情報
 D5 認定または検査書の情報
 D6 ユーザーからの決済(第1次決済)
 D7 第2次決済
 D8 第3次決済

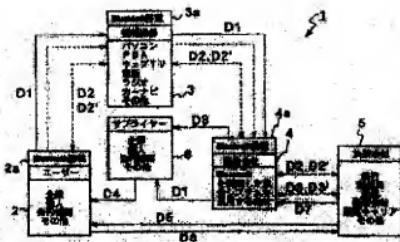
【図1】



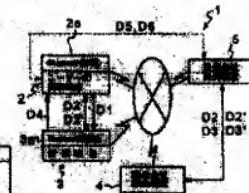
(7)

特許2002-109435

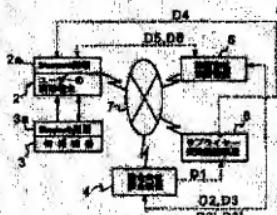
[図2]



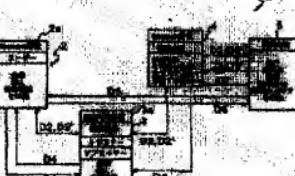
[図9]



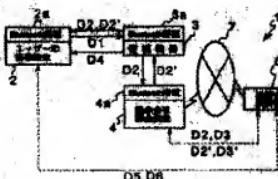
[図6]



[図7]



[図8]



[図10]

